

<ニュース リリース>

2015年10月30日

ニュー スキン ジャパン 株式会社

「世界食料デー」月間に駐日マラウイ大使を表敬訪問

ー ナリッシュ ザ チルドレン プログラム「ビタミール」累計4億5,000万食達成 ー

ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：新宿区西新宿）の代表取締役社長 小林 和則は、世界食料デー*月間に合わせ10月27日(火)に、マラウイ共和国大使館のルーベン ングウェンヤ 特命全権大使を表敬訪問しました。

当日は、小林 和則からルーベン ングウェンヤ 特命全権大使へ小児の30食分に相当するパックを手渡しました。

ニュー スキンは、2002年から実施している社会貢献プログラム「ナリッシュ ザ チルドレン」を通じて、ニュー スキンのディストリビューター、カスタマー、社員が栄養食「ビタミール」を購入し、飢えと栄養不良に苦しむ子どもたちに食料を継続的に寄付しています。今秋には、世界中の子どもたちに寄付された食料が累計4億5,000万食を超え、マラウイ共和国をはじめとし、世界各国で起こっている食料問題に貢献しています。さらに、「ビタミール」を提供するだけでなく、現地工場や農業学校「SAFI」を建設することで、雇用の創出や、家族の自立を支援しています。

ルーベン ングウェンヤ 特命全権大使から、「ニュー スキンからの継続した食料支援に感謝しています。この活動はマラウイにとって非常に有益なものです。特にマラウイは農業国のため、近代的な農業技術は人々に大きな利益をもたらします。」とコメントをいただきました。

ニュー スキンは、これからもこのような活動をとおして、多くの子どもたちの輝く未来と笑顔につながるためのサポートを実施して参ります。



※「世界食料デー」は、1979年の国連食糧農業機関総会の決議に基づき、世界の一人ひとりが協力し合いながら、最も重要な基本的人権である“すべての人に食料を”を現実のものとして、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。1981年より世界共通の日として制定され、日本でも10月16日の「世界食料デー」にちなみ、毎年10月を「世界食料デー」月間として、全国でさまざまなイベントが行われています。

■ナリッシュ ザ チルドレンについて

国連児童基金（UNICEF）によれば、栄養失調やそれに伴う病気のために、6秒に1人の子どもが命を落としています。ニュー スキンは、この絶望的な状況を改善して飢えから子どもたちを救うために、2002年にナリッシュ ザ チルドレン プログラムをスタートさせました。この革新的な社会事業プログラムは有効なビジネス手法を採用しており、世界でもっとも困窮した状態に置かれている子どもたちへの食糧支援を継続的に行い、さらにその支援を拡大しています。ナリッシュ ザ チルドレンの成功の鍵は、栄養価の高い「ビタミール」の開発と寄付の仕組みにあります。購入・寄付された「ビタミール」は、食糧支援に特化した第三者の非営利団体を通じて、栄養不良や飢餓に苦しむ人々に届けられています。

■ビタミールについて

小児栄養学の世界的権威とファーマネックスの研究チームが共同開発した、子どもの成長に必要な成分をバランス良く配合した理想的な栄養食です。1パックで5歳未満の小児の30食分に相当し、1食で240kcalを摂取できます。



■農業教育について

マラウイ共和国のタリマンジャ村において、マラウイの人々が自分自身や家族のために、より良い農業技術を学ぶことを目的に設立された「スクール オブ アグリカルチャー フォー ファミリー インディペンデンス（SAFI：家族の自立を支援する農業学校）」。

また、2013年からはそのノウハウを活用して政府が雇用する農業指導員と共に、より多くの家族が自立してゆくための義づつを効率的に広める長期的なプログラム「チルドレンズ プライター フューチャー」に取り組んでいます。スタートから3年間で、このプログラムに累計1,448世帯の家族が参加し「栄養のある野菜を食べ、子どもたちの健康状態が著しく改善された」という声が届いています。

本件に関するお問い合わせ先
ニュー スキン ジャパン 株式会社 コーポレート PR/CSR
TEL：03-5321-3600/FAX：03-5323-2296

URL : www.nuskin.co.jp